

令和3年度 決算報告

令和3年度一般会計の決算規模は、歳入総額が42億9,842万5千円で、前年度と比較すると4,297万3千円（1・0％）の増、歳出総額は41億5,043万円で、前年度と比較すると5,227万3千円（1・3％）の増となりました。

また、歳入歳出差引額は1億4,799万5千円の黒字ですが、このうち翌年度へ繰越すべき財源が892万9千円あり、実質収支額は1億3,906万6千円と、前年度より41万4千円（0・3％）の増となりました。

歳入について、町税のうち退職者の増による給与収入の減少や農業所得の減少等により、納税義務者が19人減少したことから、個人町民税が7・7％の減となり、法人町民税と合わせた町民税全体では7・8％の減となりました。固定資産税は、土地、建物、償却資産からなる純固定資産税が評価替えの影響を受け5・6％の減、国有林野交付金が6・0％の増、県有資産交付金が6・1％の増となったことにより、固定資産税全体では4・2％の減となりました。軽自動車税は、

登録台数の減により5・4％の減、たばこ税は販売本数が減となったものの税率の改定により2・5％の増、入湯税は入浴客数の増加により9・0％の増となりました。

地方交付税については、普通地方交付税が10・8％の増、特別交付税は0・8％の増で、全体では9・9％の増となりました。

国・県支出金のうち、国庫支出金では、住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金事業費補助金、学校施設環境改善交付金、衆議院議員総選挙費委託金の皆増はありましたが、公立学校施設整備費負担金、特別定額給付金給付事業費補助金、特別定額給付金事務費補助金の皆減や新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金、社会資本整備総合交付金の減等により、全体では42・2％の減となりました。

県支出金においては、国税調査交付金の皆減や県営発電所周辺地域等振興事業費補助金、機構集積協力金事業費補助金の減はありましたが、新型コロナウイルス対策生活応援商品券事業費補助金、新型コロナウイルス対策生活応援商品券事業費補助金の皆増や森林環境保全整備事業費補助金の増により、全体で37・9％の増となりました。

歳出について、経常収支比率は85・8％となっています。
その他は下記をご覧ください。

◇歳出の性質別構成比率◇

（単位：千円）

【義務的経費】	1,326,481 (32.0%)
◎人件費	717,145 (17.3%)
（うち職員給）	274,745 (6.6%)
◎扶助費	272,668 (6.6%)
◎公債費	336,668 (8.1%)
【投資的経費】	749,801 (18.1%)
◎普通建設事業費	747,337 (18.0%)
【その他経費】	2,072,732 (50.0%)
◎物件費	605,248 (14.6%)
◎維持補修費	86,480 (2.1%)
◎補助費等	645,274 (15.6%)
◎投資出資貸付金	99,224 (2.4%)
◎積立金	271,217 (6.5%)
◎繰出金	365,289 (8.8%)
歳出合計	4,149,014 (100%)

※（ ）内は構成比率

令和3年度主要施策

（単位：千円）

『補助事業』

義務教育施設整備事業（工事管理業務含む）	464,170
橋梁補修工事（積算資料作成業務含む）	69,642
造林事業	40,405
橋梁点検事業	12,514
あきた白神DMO負担金	5,900

『単独事業』

福祉医療費	28,828
バス路線維持費補助金	18,345
奨学金貸付金事業	16,800
お買い得商品券助成金	11,192
土床体育館屋根改修工事	10,274
藤里町集会所建設等助成交付金	10,259
移動系防災行政無線デジタル化事業	8,723
農用地活用適正化助成金	7,791
子育て応援金	7,720
町営スキー場索道設備改修工事	7,700
高齢者バス無料化事業	6,237
国際交流員兼指導員派遣委託事業	6,006